

2018年度化学工学会 インターンシップ報告会

2018年3月13日

氏名	畑岡 直弥		
大学	広島大学大学院	学科 専攻 学年	工学研究科 化学工学専攻 修士1年
研修先企業名	花王株式会社	研修先部署	加工・プロセス開発研究所
研修場所	和歌山研究所		
研修テーマ	香料製造技術に関する研究		
研修期間	2018年8月27日～9月7日 (土日を除く10日間)		

参加経緯

インターンシップへの参加経緯

- ✓ 化学工学が現場でどのように活用されているかを知りたい
- ✓ 大学と企業の違いを知りたい
- ✓ 働く際に重要なスキルを知りたい
- ✓ 会社で働くというイメージをつかみたい

就職活動に活かしたい

化学工学の役割

パイロットスケール

実機に近い方法で検討

生産効率向上に向けて

実機

プロセスの改善

高効率・低コスト

工業化に向けて

ラボスケール

単位操作
操作条件

の決定

スケールアップ

化学工学の役割

- 工業化に向けてのスケールアップ
- 生産効率向上に向けてのプロセスの改善

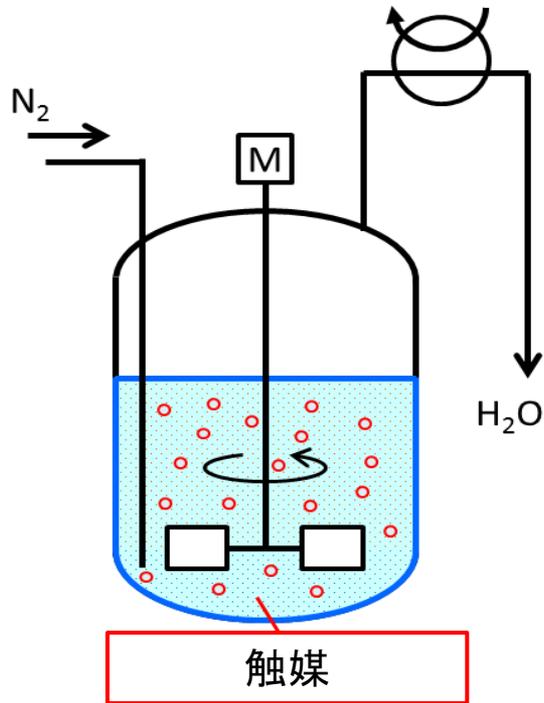
基礎研究

新規材料の開発

研修内容

ラボスケール (500 cc)

固-液反応プロセス



原料：液体
触媒：固体

- ✓ 粒子の分散状態
- ✓ 界面物質移動速度

➤ 反応槽内の現象を理解

攪拌は重要なパラメータの1つ

研修テーマ

攪拌による影響を検討

攪拌特性を理解

所感

化学工学の重要性

スケールアップの際に現象を理解する上で重要

大学と企業の違い

安全に実験を行うことが最優先

働く際に重要なスキル

- ✓ コミュニケーション能力 ➤ わからないことはすぐに聞く.
- ✓ 時間管理能力 ➤ 短期間で効率よく成果をだす.

後輩の皆様へ

不安要素

- ✓ 長期間研究室を離れるため、研究がおろそかになる.
- ✓ インターンシップ中に失敗をしたでしょう.

研修を通して学んだこと

- ✓ 実験の進め方 ➤ 論理的思考力, 時間管理能力
- ✓ 化学工学の役割を認識できたこと

インターンシップへの参加をお勧めします

謝辞

インターンシップという貴重な機会を提供して下さった花王株式会社様
ならびに化学工学会様に心より感謝申し上げます。

ご多忙にも関わらず、2週間の間丁寧にご指導して下さった
加工・プロセス開発研究所の皆様

この場を借りて深く御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。

広島大学 畑岡 直弥